

令和8年度の取り組みについて

①子どもや障がい者などの文化芸術に触れる機会の充実

【課題】

子どもや障がい者、外国人住民など、文化芸術に触れることが難しい人もいる。

【取り組み】

- ・子育てをしている家族、障がいのある人やその家族への理解を深めるための行動。
- ・親に興味、関心をもってもらえる事業や、家族や親子が参加できる事業、子どもたちだけで参加ができる身近な場所での事業を展開する。
- ・地域の文化や歴史の継承のため、子どもが参加できるような事業や、外国の文化を知る事業を展開する。
- ・学校や障がい者施設、誰でも利用できる場所でのアウトリーチ。

②学校のクラブ活動（吹奏楽部）の地域展開

【課題】

- ・実施場所（セキュリティ）・楽器の運搬・指導者の確保

【取り組み】

- ・地域の楽団や指導者との調整
- ・伊賀市の実情を把握

③文化芸術とのつながりと情報発信

【課題】

- ・文化振興プランを浸透させ、文化芸術の範囲を周知させる。
- ・事業カードを定着させる。
- ・事業の周知にあたっては、事業目的および事業対象者を明確にし、さらに「誰に」「どのような手法で」情報を届けるかを定め、届けたい人に確実に伝わる広報を行う。

【取り組み】

- ・条例やビジョンの告知媒体として、ロゴマークの作成など、より周知しやすい方法を検討する。
- ・文化芸術の魅力や効果を含め、文化芸術の分類(メディア芸術や生活文化など)を広める。
- ・文化芸術団体（個人）とつながり、連携を高め、文化芸術の推進を高める。